

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和2年8月1日

Table with multiple sections: I. 基本事項 (Basic Information), II. 公共事業評価経過 (Public Project Evaluation Progress), III. 事業採択前の状況 (Status Before Project Selection), IV. 事業の実施状況 (Implementation Status of the Project). Includes details on project type, budget, progress, and cost reduction measures.

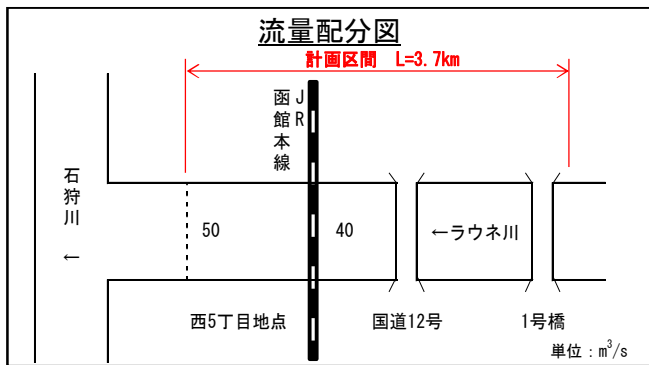
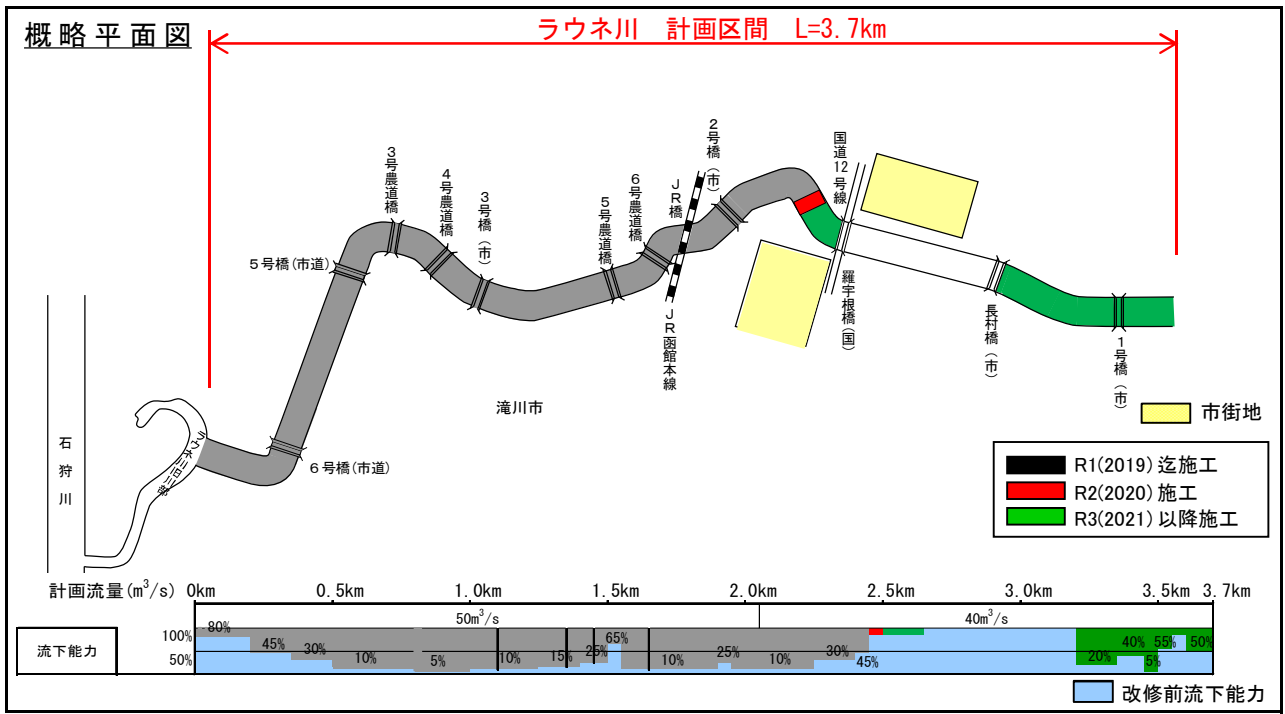
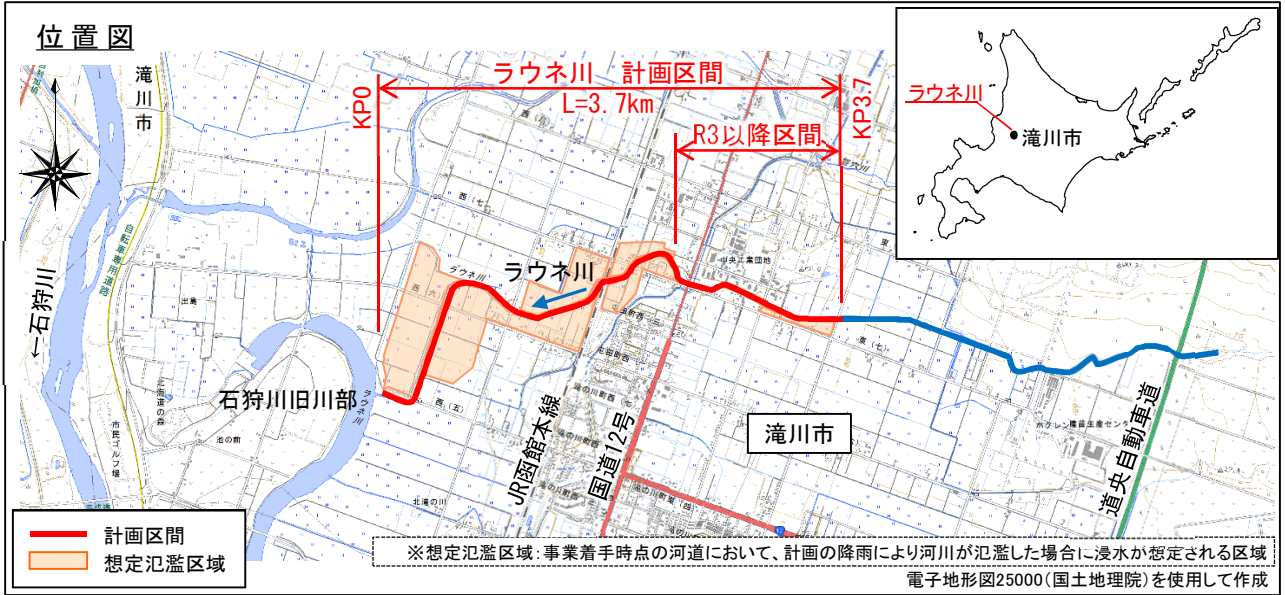
V 評価											
1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業は、滝川市北滝の川地区の市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ●事業着手後もH13年（2001年）9月（浸水面積1.3ha）、H17年（2005年）8月（浸水面積0.7ha）、H21（2009年）7月（浸水面積1.0ha）に浸水被害が発生。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 										
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</td> </tr> </table>	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。		c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。						
a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。										
	c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。										
2.事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 落差工に魚道を設け、河床の縦断的な連続性を確保することにより、魚類などの移動に配慮している。 ● 低々水路を設け、魚類が生息できる水深を確保している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。										
	(2) 事業推進に対する住民の動向 <ul style="list-style-type: none"> ● 滝川市から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 ● 空知地方総合開発期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 										
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 										
3.事業達成の見込み	今後の事業の実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。										
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b：課題はあるものの達成は可能である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</td> </tr> </table>	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。		b：課題はあるものの達成は可能である。		c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。										
	b：課題はあるものの達成は可能である。										
	c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。										
4.対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指し、事業継続する。										
	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</td> </tr> </table>	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止								
a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止										
<table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>無</td> <td>目的・規模等に係る変更</td> <td>無</td> <td>左記以外の変更</td> <td>無</td> </tr> </table>		事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更	無
事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更	無		
VI 備考											
1.評価履歴	再評価：平成27年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：1.08										
2.その他の取組事項											

補足資料

VII 事業計画変更							(単位：百万円)					
事業期間	再評価 事前評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
		H13 (2001)	H15 (2003)		H22 (2010)			3,475	1,158			
変更①	1回目		H15 (2003)	H22 (2010)	H29 (2017)			3,600	1,200			
変更②	2回目			H27 (2015)	H32 (2020)			3,960	1,320			
変更③				H28 (2016)	H35 (2023)			4,560	1,505			
変更④	3回目			R2 (2020)	R5 (2023)			4,689	1,563	207	3,899	83%
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						19						
変更理由・内容		変更①：事業費の変更 JR橋架替に伴う仮設工（仮線区間における踏切等）の増などによる。 事業期間の延伸 JR橋の仮線箇所への補償物件及び借地に時間を要したことや、JR橋の施工に時間を要していることなどによる。 変更②：事業費の変更 橋梁の基礎形式の変更などによる。（直接基礎→杭基礎） 事業期間の延伸 橋梁架替に伴う関係機関協議に時間を要したことのほか、残事業費を精査したことなどによる。 変更③：事業費の変更 H28年（2016年）8月出水により河岸欠陥が生じたことを受け、護岸範囲を見直したことなどによる。 事業期間の延伸 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。 変更④：事業費の変更 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による。										

事業概要図

事業名	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	ラウネ川	採択年度	H13 (2001)
-----	------------------------------	-----	------	------	---------------



計画諸元

流域面積 (km ²)	6.19
計画延長 (km)	3.7
氾濫面積 (ha)	70
計画雨量	35.0mm/hr
計画高水流量 (m³/s)	50
計画勾配	1/490~1/120

